

## 平成22年度CSI委託事業報告交流会成果報告

九州大学附属図書館eリソースサービス室リポジトリ係

一橋大学学術・図書部学術システム課

<https://hdl.handle.net/2324/19740>

---

出版情報：2011-06-13  
バージョン：  
権利関係：

# 自動収集・登録ワークフロー システムの開発

主担当機関：九州大学 分担機関：一橋大学 連携機関：筑波大学・三重大学



詳細は、<http://code.google.com/p/csiworkflow/>

いちいち出版者に許諾をとるのが面倒...

もっと効率よくコンテンツを増やしたい...

著作権の管理も大変...

先生方のセルフアーカイビングを促進したい...

う〜ん...

全部まとめて自動化させて、担当者・登録者双方にとって効率のよい登録フローを確立したい!!

そこまでは...

## <著作権処理の標準化>

•より多くの機関にとって有用なシステムにするため、各機関リポジリで行っている、雑誌論文の著作権処理の進め方を調査した。

### 【著作権処理方法の調査】

- ・全国の機関リポジリ(168機関)に対し、著作権処理の方法についてのアンケートを実施。
- ・アンケート結果を基に、様々なタイプの全国12機関にヒアリング調査。
- ・全国アンケートやヒアリングの結果を分析し、機関リポジリの違いを幅広く吸収した形での著作権処理の標準化、著作権処理状態管理システムの開発仕様案を作成。

わかったこと

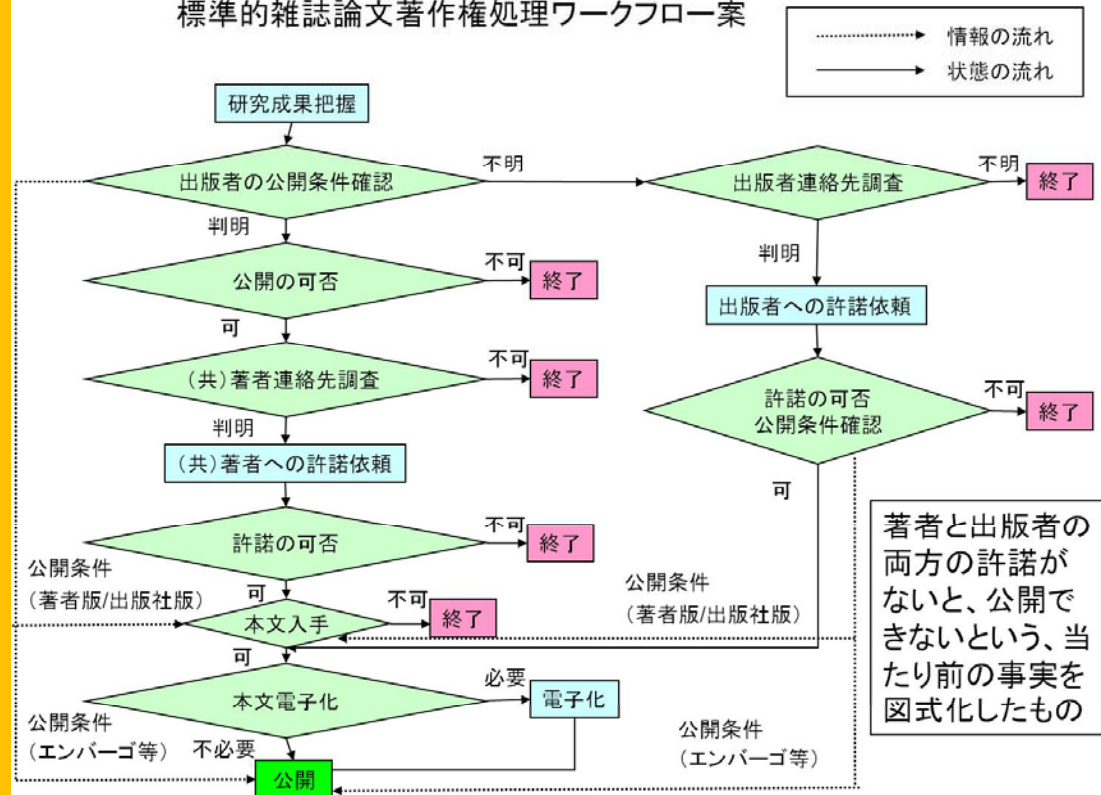
#### 管理すべき状態

- ・未着手
- ・出版者著作権ポリシー確認中
- ・著者連絡先調査中
- ・出版者連絡先調査中
- ・著者許諾依頼中
- ・出版者許諾依頼中
- ・本文提供待ち
- ・電子化待ち
- ・公開済
- ・終了
- ・備考

#### 管理すべき情報

- ・メタデータ
- ・著者連絡先
- ・著者許諾依頼手段
- ・著者許諾結果
- ・出版者著作権ポリシー
- ・(著者版/出版社版、エンバゴ期間、その他)
- ・出版者連絡先
- ・出版者許諾依頼手段
- ・出版者許諾結果
- ・備考

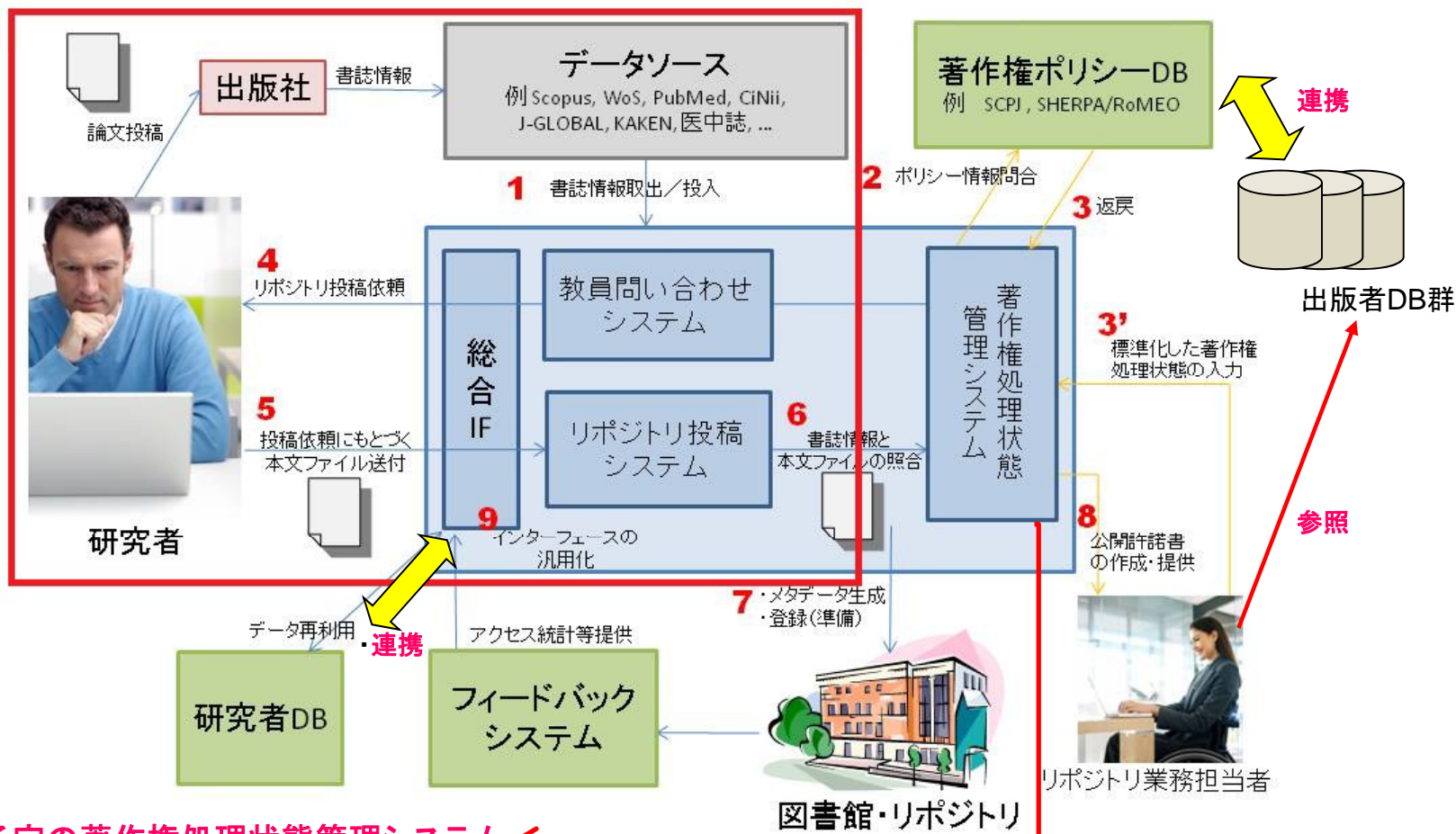
### 標準的雑誌論文著作権処理ワークフロー案



図式化すると...

# 文献自動収集・登録ワークフローシステム

22年度  
開発範囲



23年度開発予定の著作権処理状態管理システム ←

## 【基本機能】

1. 様々な研究成果把握方法に対応するための、状態遷移の順序の自由度
2. ローカル出版者DB構築機能
3. 共著者への許諾依頼機能
4. Excel形式での入出力を可能にすることによるローカルデータとの連携機能
5. 機関リポジトリソフトウェアへの自動登録機能

## 【拡張機能】

1. システム導入の容易さ
2. 出版者問合せ負担軽減のためのローカル出版者DBの共有化
3. 研究者DBのデータソース化などの研究者DBとの密接な連携機能
4. システムの部分的導入を可能にするためのサブシステムのモジュール化